

## 6.2 比奈知ダム流域概要

### 6.2.1 周辺環境の整理

#### (1) 自然環境

##### 1) 地形

比奈知ダム周辺の地形の状況は、図 6.2.1-1 に示すとおりである。

ダム貯水池周辺は山麓地から小起伏・中起伏の地形であり、左岸側は室生山地、右岸側は布引山地の南端部に位置している。

ダム集水域は、上流部流域界が大起伏山地である高見山地から宇陀山地につながり、中流部からダム貯水池周辺は中起伏の布引山地及び室生山地となっており、一部山麓地もある。また、名張川沿いには低地地形が、上流部の一部には丘陵地地形も見られる。

##### 2) 地質

比奈知ダム周辺の表層地質の状況は、図 6.2.1-2 に示すとおりである。

ダム貯水池周辺は、変成岩類及び深成岩類となっている。

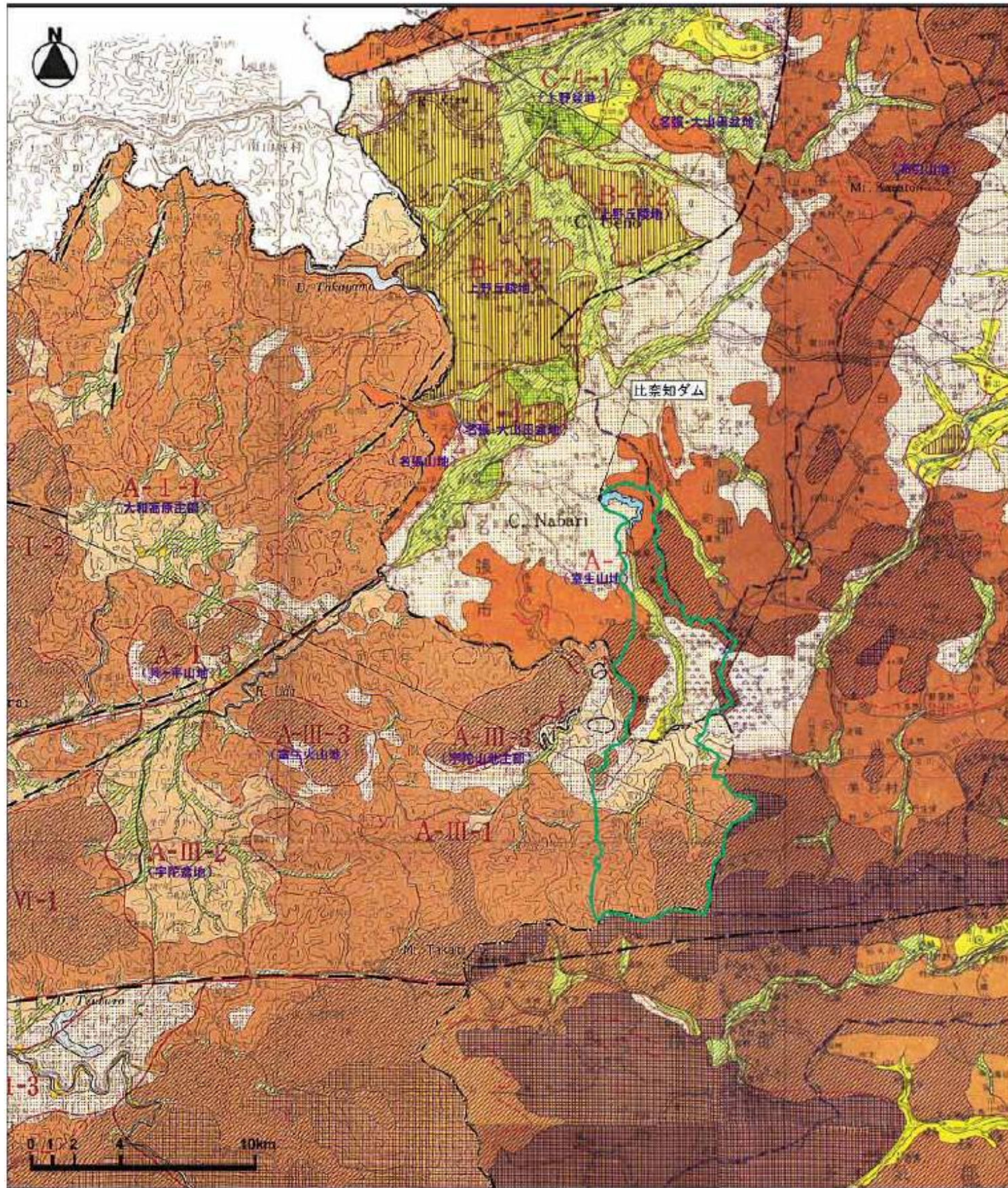
ダム集水域は、ダム貯水池から中流部にかけて、河川沿いに変成岩類がみられ、その外側に火山性岩石がみられる。また、中流部には未固結堆積物がみられ、上流部には深成岩類及び変成岩類がみられる。

##### 3) 土壌

比奈知ダム周辺の土壌の状況は、図 6.2.1-3 に示すとおりである。

ダム貯水池周辺は、褐色森林土となっている。

ダム集水域は、大部分が褐色森林土であり、主に中流部から上流部には灰色低地土や黒ボク土がみられる。



- | 凡   |          | 例  |
|-----|----------|--|
| 山地  | 大起伏山地    | 起伏量800m以上の山地で、東部の鈴鹿山地、南部の紀伊山地に分布する。鈴鹿山地においてはさらに東部の難波系を中心とする地域と南部の御在所系を中心とする地域とに分かれ、いずれも東西する造り差を有する。紀伊山地では大分山地を中心と広く分布し、むかし山脈を形成している。一部では海にまで没んで断崖をなしているところもある。 |
|     | 中起伏山地    | 起伏量400～600mの山地で、大起伏山地に接して分布するほか、真中部の引山脈や一志・笠生山地、南東部の徳倉・鈴鹿山地の大部分に広がっている。また白雲山地では高度1,000m以上の辺りに残存する嶺頂面がここに含まれる。  |
|     | 小起伏山地    | 起伏量200～400mの山地である。北部伊勢山地、中部の若引山脈、一志・笠生山地、東部の御所山地に広く分布する。このうち若引山地では高度700～800mのところによく残存する隆起準平原とみられる緩傾面を構成している。   |
|     | 山麓地      | 起伏量200m以下の山地で、一般に大～小起伏山地の縁辺に続いて存在する。分布は比較限られているが、布引山地の東麓、上野・志保山地の南で笠生山地に接する山頂、一志山地の南西、鈴鹿山地の連麓などによって存在する。   |
| 丘陵地 | 大起伏丘陵地   | 起伏量100～200mの丘陵地である。北部では美濃山地の南に続く長井丘陵、上野山地周辺の阿山・上野丘陵に広く分布する。また南東部では志保系山脈・中部の二見丘陵や神崎・横山丘陵がこれに相当し、鈴鹿山脈沿線山地に続く地塊、伊勢湾口の徳倉系・神倉系もここに属する。                              |
|     | 小起伏丘陵地   | 起伏量100m以下の丘陵地で、広くまとまった範囲を示す例は少ない。伊勢平野各地に分布する比較的緩傾の遠く山麓丘陵地が該当し、上野山地北側の阿山丘陵の一部もこれに含まれる。  |
| 台地  | 砂礫台地(上位) | 扇状地に分布するいわゆる洪積台地の中央上位部にあたる。伊勢平野では鈴鹿山脈に分布する扇状地台地や、河津段丘の一部がこれに相当する。先史時代に広く分布する扇状地台地、上野山地周辺の古琵琶湖段丘の高位の扇状地もここに含まれる。  |
|     | 砂礫台地(下位) | 洪積台地帯、河津段丘のうち低位に属するもので、伊勢平野には広く分布する。その多くは扇状地性で、上位に比べると地形もまた急なです。平坦面がよく残っている。このほか上野山地周辺の八日草系、鈴鹿山脈以南にみられる河津段丘面などもここに含まれる。  |
| 低地  | 扇状地性低地   | 主として河津系からなる扇状地帯で、扇状地の下位部に広く分布するほか、中流域の河津系も多くここに含まれる。伊勢平野の海側に近い部分を除く大部分、上野山地帯などもこれにあたる。   |
|     | ダム集水域    |  |

出典：土地分類図(三重県)昭和50年【復刻版】(平成0年4月、財団法人 日本地図センター)  
 土地分類図(奈良県)昭和48年【復刻版】(平成3年10月、財団法人 日本地図センター)

図 6.2.1-1 比奈地ダム周辺における地形分類の状況

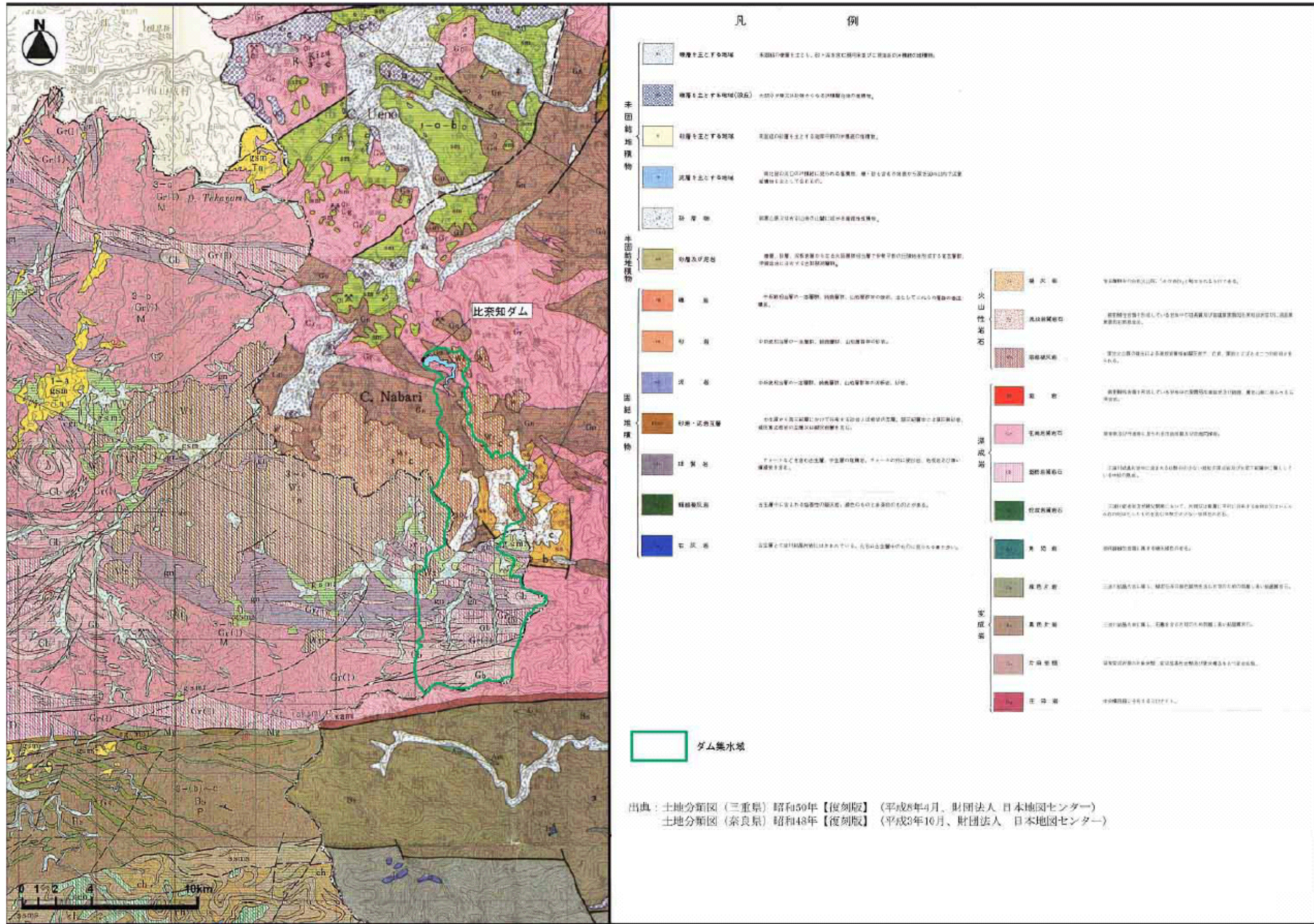


図 6.2.1-2 比奈地ダム周辺における表層地質の状況



#### 4) 気象

ダム貯水池がある名張市は、伊賀盆地に属しており、夏は暑く、冬は寒い内陸性気候であり、降水量は梅雨や台風時期に多く降雪によるものは少ない。中流部の名張市での年間降水量は約 1,500mm 程度であるが、上流部の菅野では、我が国有数の多雨地である大台ヶ原に近いこともあって、年間降水量は約 2,100mm 程度である。また、本流域は、台風性の豪雨が災害をもたらすことが多い。

名張市の 1995 (H7) ～2004 (H16) 年における年平均気温及び年間降水量の状況は、表 6.2.1-1 に示すとおりであり、10 ヶ年平均で年平均気温は 15.5℃、年降水量は 1246.8mm であった。

表 6.2.1-1 名張市における年平均気温及び年降水量の状況

項目	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	10ヵ年平均
年平均気温 (℃)	15.3	15.2	16.0	16.8	16.1	14.8	14.7	14.9	14.4	16.5	15.5
年降水量 (mm)	1,222.1	762.5	922.0	1,072.5	1,686.0	1,264.5	1,304.0	1,101.0	1,530.0	1,603.0	1246.8

出典：名張市統計資料編 2004 年版（名張市）

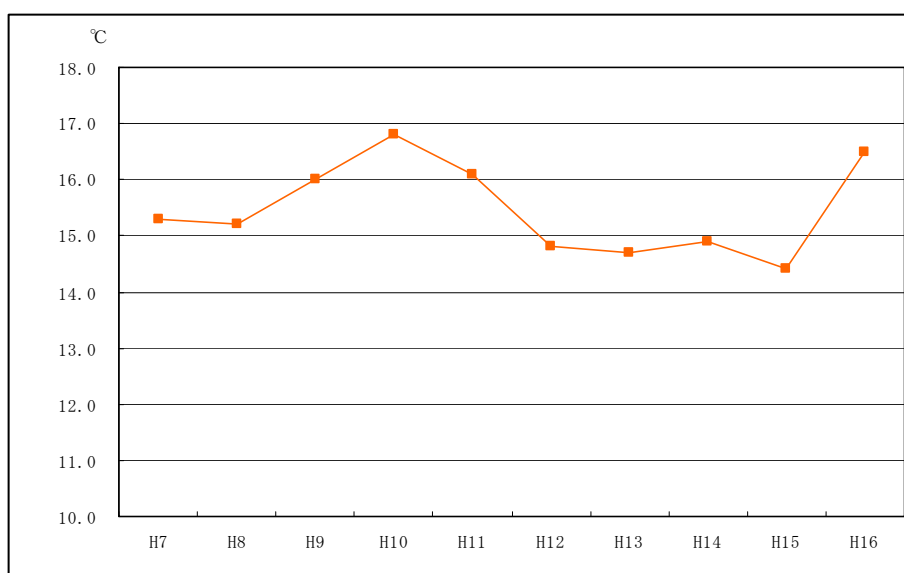


図 6.2.1-4 名張市における年平均気温の推移

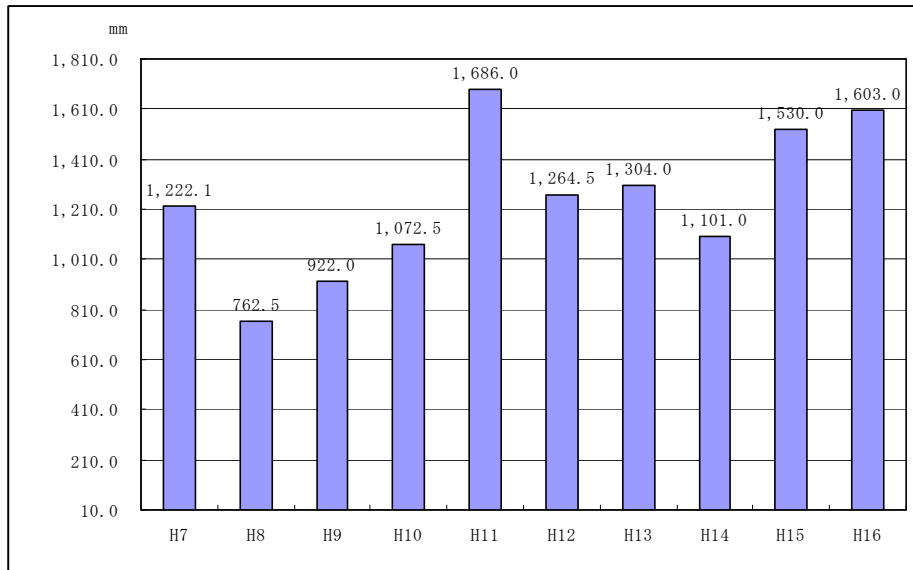
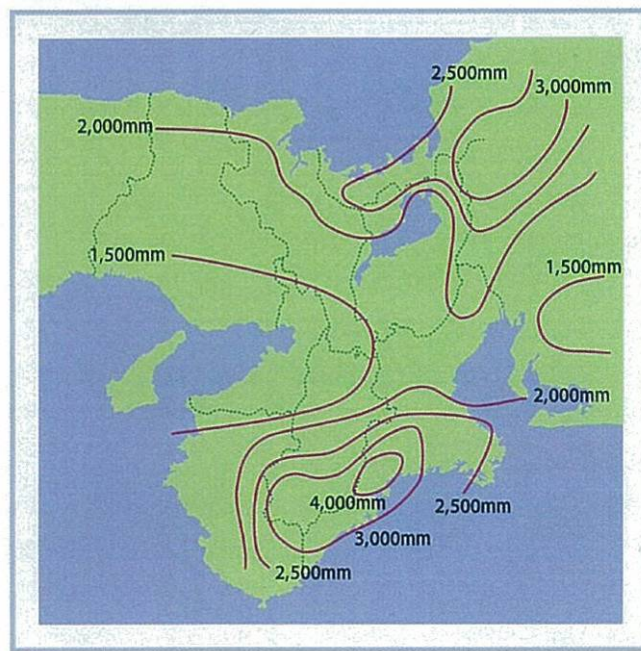


図 6.2.1-5 名張市における年降水量の推移



「滋賀の植生と植物」 サプライ出版 小林圭介編著

図 6.2.1-6 年降水量の分布

## 5) 植物

比奈知ダム周辺の現存植生図は、図 6.2.1-7 に示すとおりである。

ダム貯水池周辺は、植林地植生のアカマツ植林及びスギ・ヒノキ植林が大部分を占め、ヤブツバキクラス域代償植生のクヌギーコナラ群落が生息している。

ダム集水域においては、名張川沿いには水田雑草群落や畑地雑草群落といった耕作地植生となっており、その他大部分が植林地植生のアカマツ植林及びスギ・ヒノキ植林となっている。

また、中流部にはブナクラス域代償植生のアカシデーヌシデ群落がみられる。

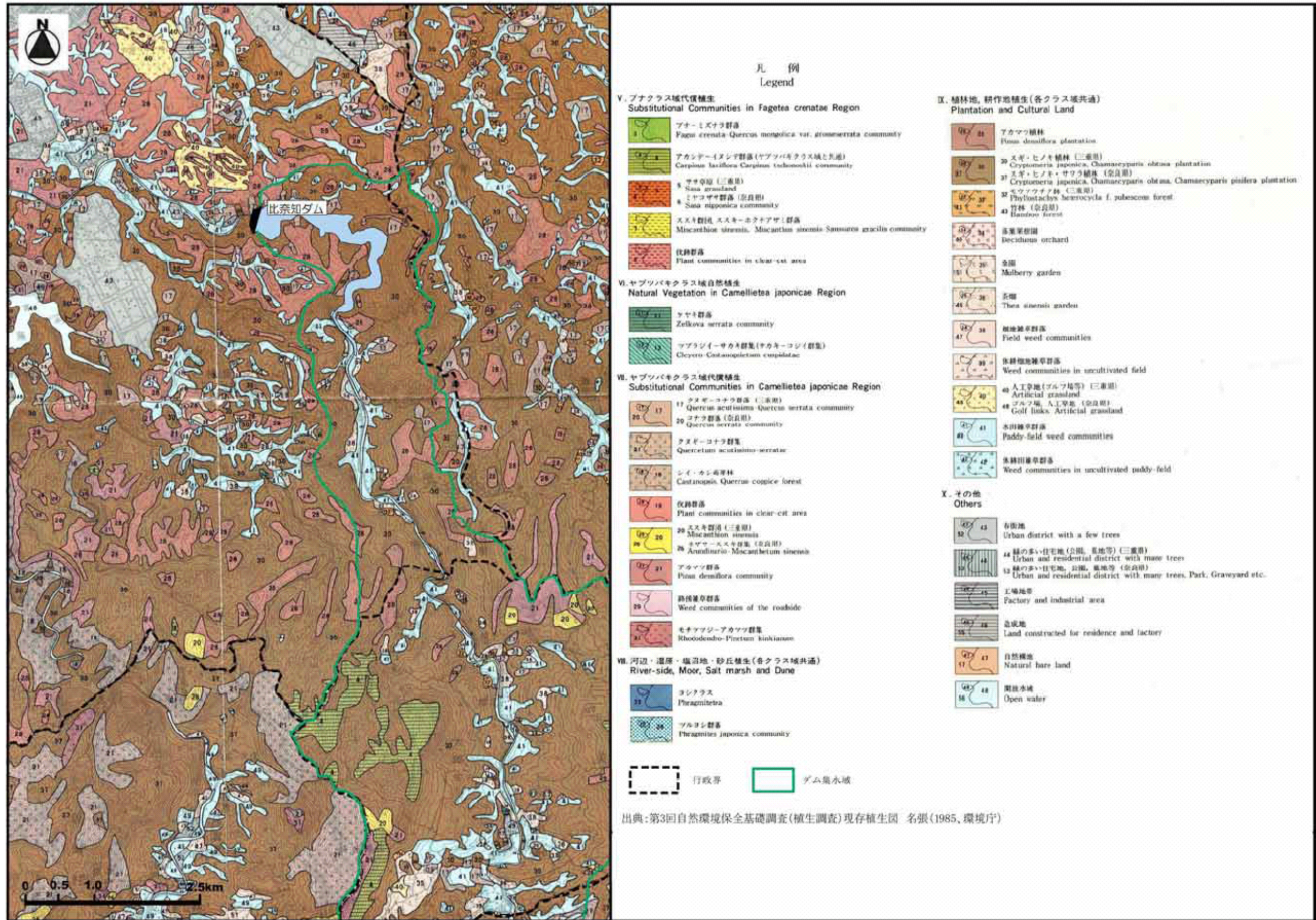


図 6.2.1-7 比奈地ダム周辺における現存植生図



## 6) 環境関係法令等による規制の状況

比奈知ダム集水域周辺における環境関連法令等による指定地域等の状況は、表 6.2.1-2 及び図 6.2.1-8～図 6.2.1-12 にそれぞれ示すとおりである。

表 6.2.1-2 比奈知ダム集水域周辺における環境関連法令等による指定地域等の状況

法律等	指定区分	指定地域、規制内容等	図番号
鳥獣保護及び狩猟ニ関スル法律	鳥獣保護区	名張市青蓮寺湖 名張市赤目 三重大学平倉演習林 名張市比奈知ダム 鎧・兜岳	図 6.2.1-8
	銃猟禁止区域	名張市 曾爾高原	
森林法	保安林	指定あり	図 6.2.1-9
砂防法	砂防指定地域	指定あり	図 6.2.1-10
地すべり等防止法	地すべり防止地区		
急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律	急傾斜崩壊危険区域		
文化財保護法 ----- 県文化財保護条例	名勝又は天然記念物 ----- 名勝又は天然記念物	三多気のサクラ 霧生のクマガイソウ群落 長瀬のヒダリマキガヤ 国津神社のケヤキ 真福院のケヤキ	図 6.2.1-11
自然環境の保全に関する条例	自然環境保全地域 歴史的な自然環境保全地域	指定なし	図 6.2.1-12
自然公園法	国立公園	指定なし	
	----- 国定公園	室生赤目青山国定公園	
	----- 県立自然公園	赤目一志峡県立自然公園 香肌峡県立自然公園	
自然環境保全部	原生自然環境保全地域 自然環境保全地域	指定なし	
絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律	生息地等保護区	指定なし	
近畿圏の保全地区の整備に関する法律	近郊緑地保全地区	指定なし	
都市緑地保全部	緑地保全地域	指定なし	
古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法	歴史的風土保存地区	指定なし	
都市計画法	風致地区	指定なし	
環境基本法	水質汚濁に係る環境基準の類型指定	指定あり(名張川の全区間：A 類型)	図 5.2.1-1

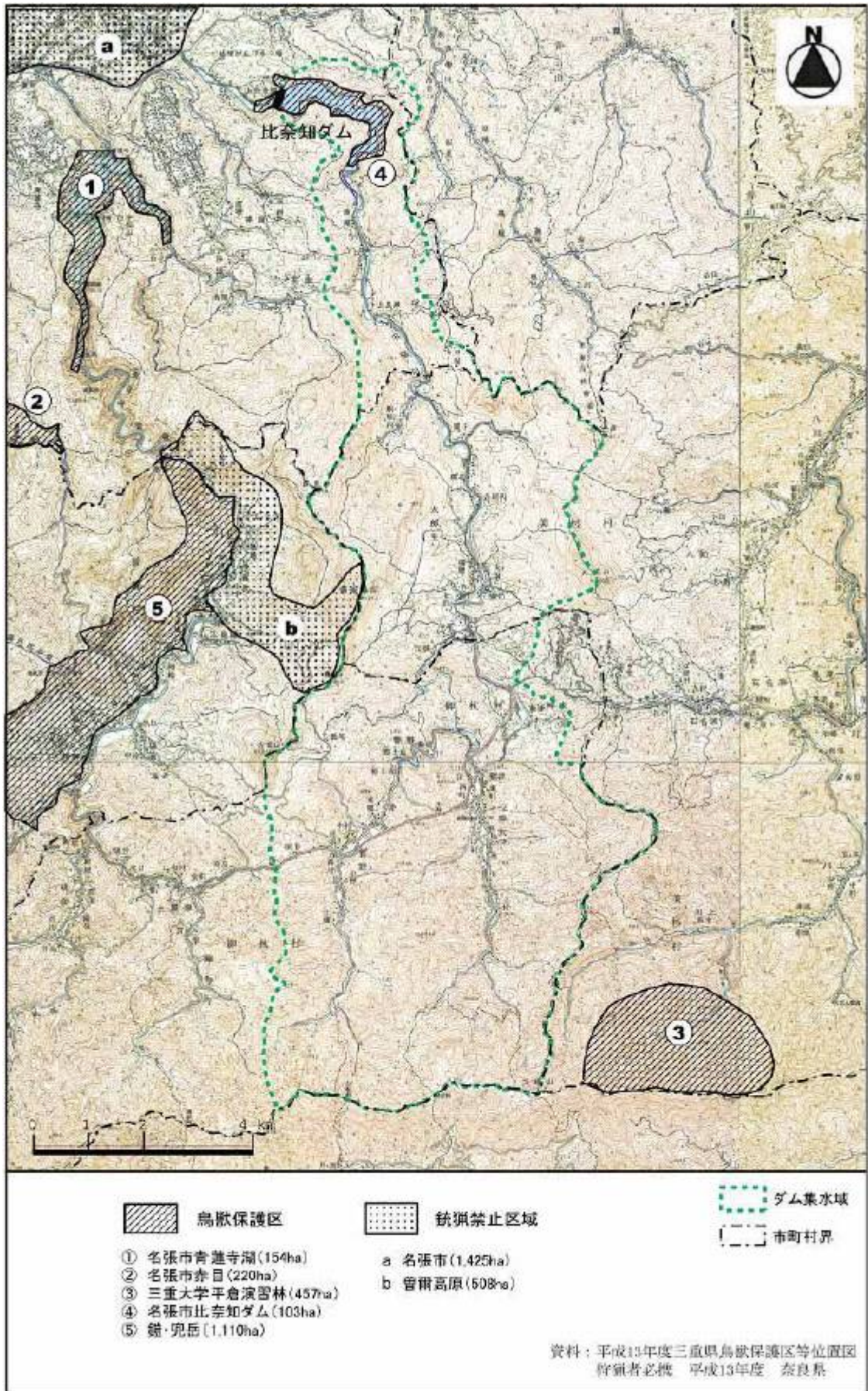


図 6.2.1-8 鳥獣保護区等の指定状況



図 6.2.1-9 保安林の指定状況

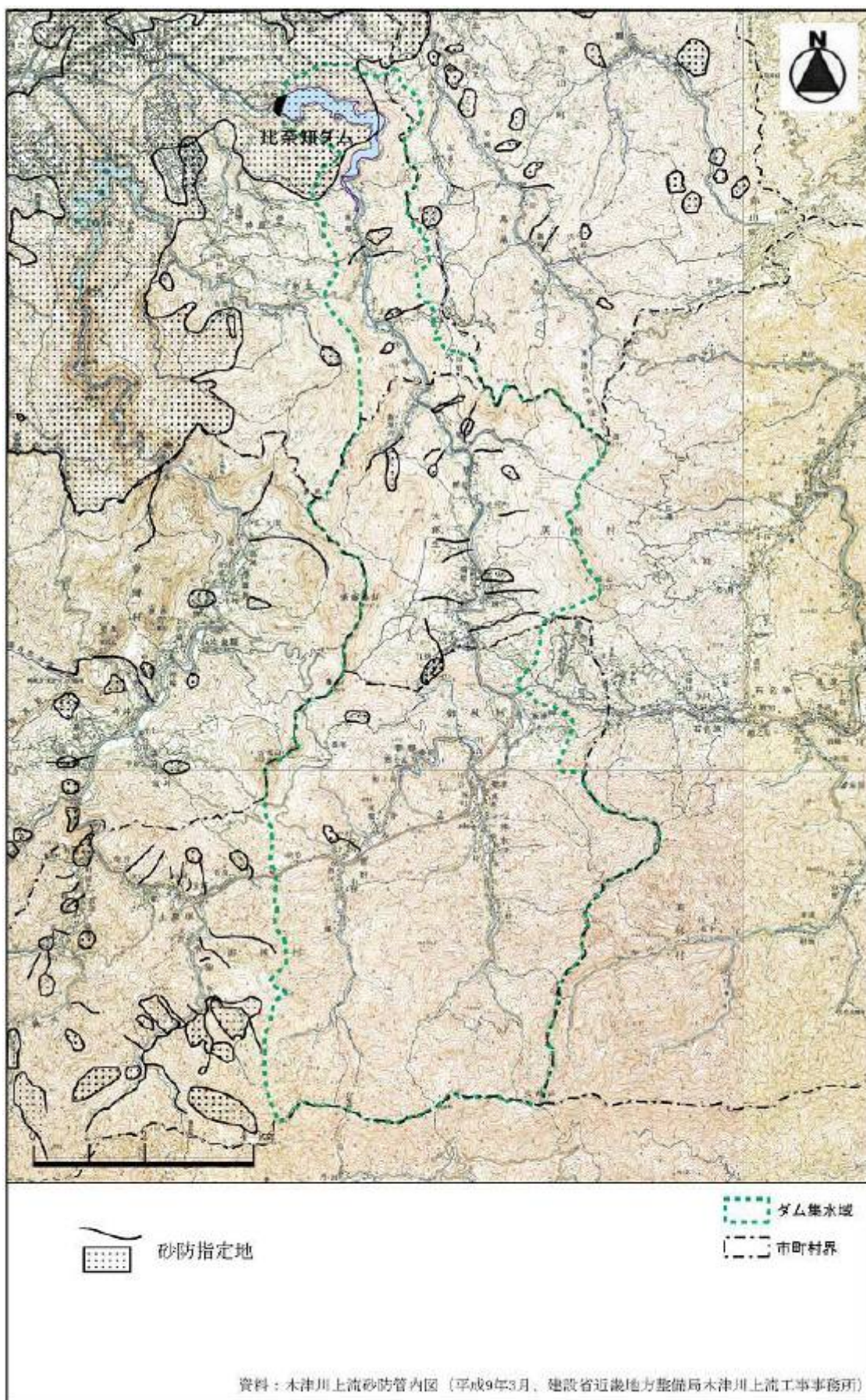


図 6.2.1-10 砂防指定地等の状況

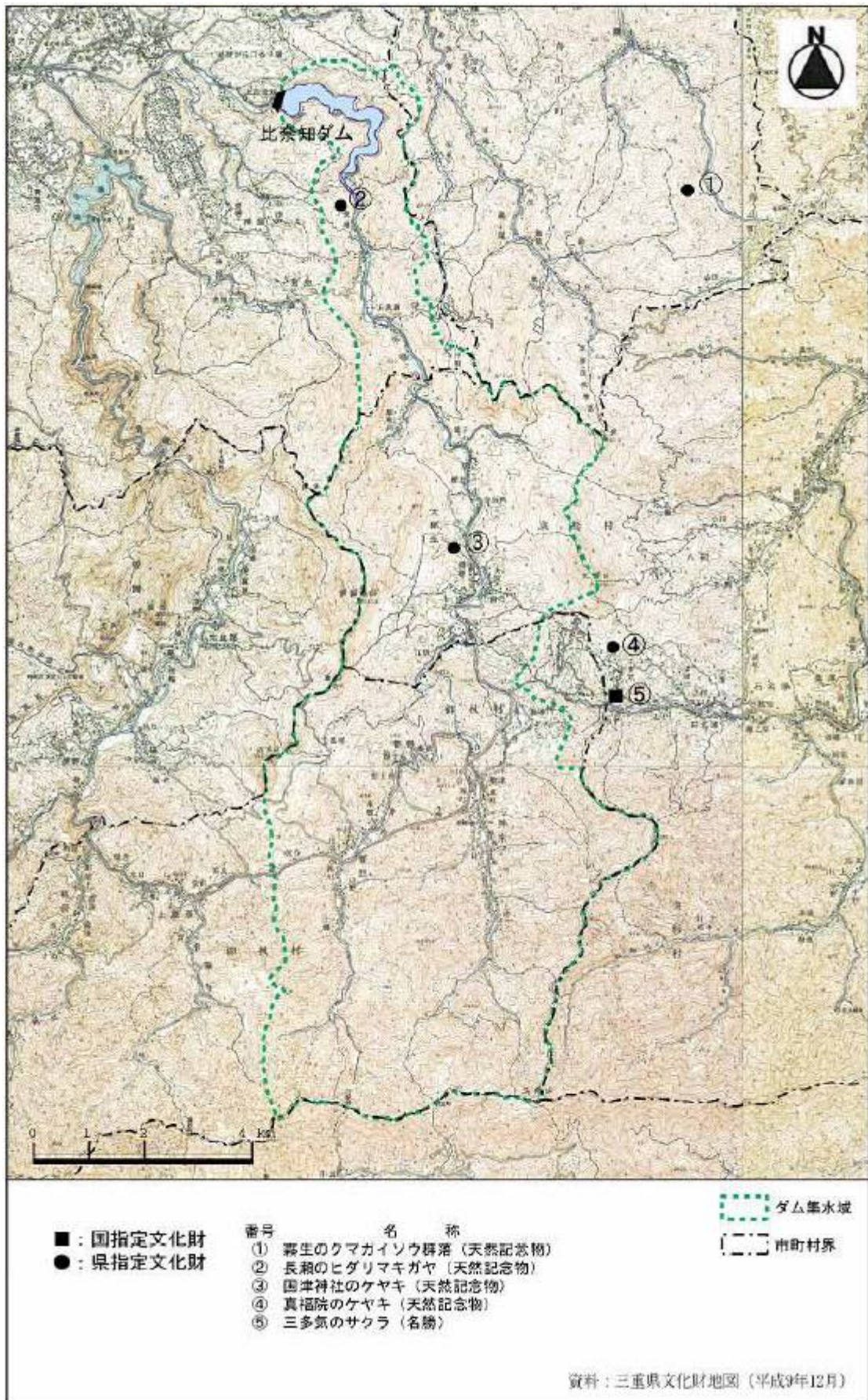


図 6.2.1-11 天然記念物等の状況

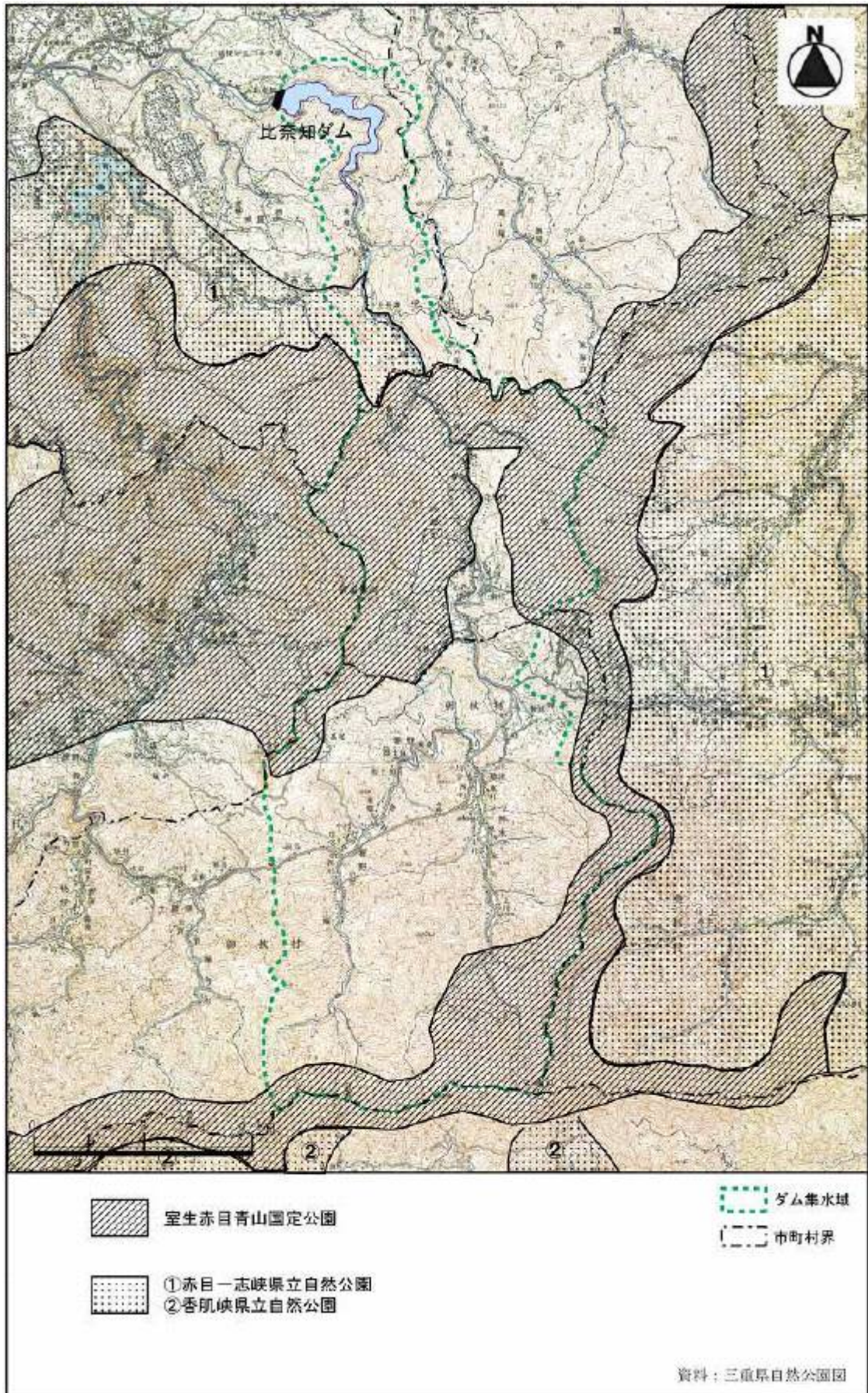


図 6.2.1-12 自然公園等の指定状況